

たくましく心温かな中洲の子



- ◆ 令和元年8月26日（月）
- ◆ 諏訪市立中洲小学校

1学期のまとめの 大事な1ヶ月です（校長講話より概略）



とても暑い夏休みでしたが、みんな元気でしたか？金曜日は久しぶりに会えてとっても嬉しかったです。大きな事故やけがなどがなくほんたによかったですね。さて、1学期のまとめのあと1ヶ月、とても大事な毎日です。「自分はこれをがんばるぞ！」というものをしっかりもち直して過ごす1ヶ月にしましょう…

という話をする前に、まずは夏休み中のこと。合唱団は8月2日のコン

クールで銀賞をとりました。これは、毎朝の基礎練習や夏休みの暑い体育館でのラストスパートの練習があってこそその賞です。本当におめでとうございます♪

全校の皆さんも、一研究などいろんなことを頑張れたと思います。クラスでいっぱいお話できたかな。校長先生にも、夏休み中こんなことがあったよって、いろいろ教えてくれてありがとう。

さて、先生達も夏休み中、たくさんの仕事や勉強をしました。地域巡りやものづくりの研修、生け花もみんなでやりました。教室に飾ってあったでしょう。その他中洲クラブ・みどりの少年団……。休み前と学校の中が変わったことがありますね。廊下の真ん中の白い線を、先生達が作業できれいにしました。右と左を守って、学校の中でけがなどが起こらないようにしましょう。それから、教室にエアコンがつけました。まだ使えなくて申し訳ないけど、暑い中、工事の方が毎日毎日作業をしてくださいました。ありがたいですね。

さて、校長先生は夏休みに何をしたかという、私にもたくさん宿題があったので、それをやった他に主に2つのことが心に残っています。一つは、夏休み前に言ったように、プラスチックのゴミをなるべく出さない生活に心がけたり、プラゴミ問題についてたくさん調べたりしました。もう一つは、7月28日に中洲小の「同窓会総会」があって、その中で、皆さんがよ～く知っているこの像・・・そう「雄飛」をつくった清水多嘉示（しみずたかし）さんのお話を聞き、「もっと清水さんのことを知りたい！」という気持ちが大きくなったので、本を読んだり、そのお話をしてくださった方が館長さんをしている八ヶ岳美術館まで行って来たりしました。美術館には雄飛の他にも素晴らしい像がたくさんあったけれど、清水さんは本当は絵の勉強をするためにフランスへ行ったと聞いてびっくりしました。フランスに行ってブルーデルという彫刻家に出会ってその作品を見た時のことをこんなふうに書いています。「・・・心の底に眠っていた私自身を発見し、〈これだ〉という気持ちになった。これが彫刻に手をつける動機となり、パリへ着いてから一ヶ月後にはすでにブルーデルの門に入っていた。」清水さんが〈これだ〉と言えるものに出会えたから、みなさんも「雄飛」に出会えましたね。

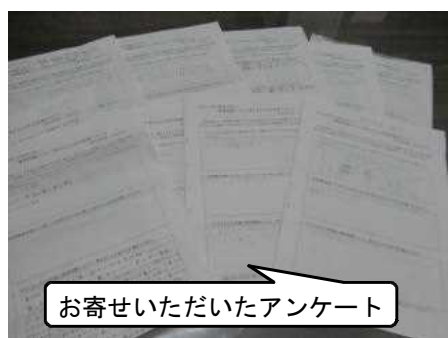


見る角度によって様々な表情のある「雄飛」の像

さて、ここで、一番最初の話に戻ります。夏休み明け、一人ひとりが4月にもった目標を見直し、しっかり目標をもち直して過ごしてほしいのですが、中洲小みんなで頑張してほしいことは、「なぜだろう 知りたいな もっと考えたい もっと工夫できそう」など、自分から進んで（自主的に）、楽しく わくわくした気持ちで授業に取り組むことです。どの教科でもそうだけど、例えばすわっこ学習。休み中に教室を覗いてみると、夏休み前に取り組んだ学習の様子を貼ってあるクラスがありました。みんながどんなことに興味をもってどんなふうに学習しているのかわかります。授業は毎日5時間も6時間もあります。意欲を持って自分から進んでやるのと、いやいややるのとでは、大きな違いが出てしまいます。先生達も、夏休み明けもっとこんなふうに授業をやっていきたいという目標をもちました。各クラスでワクワクする授業を友達や先生とみんなで作っていきましょう。

最後に、9月から毎週水曜日に、1年生の自立下校が始まります。中洲小学校にはキョロブラさんが100人以上います。4月だけでなく1年中下校の見守りをしてくださるような学校はとても珍しくありがたいことです。水曜日、1年生が自分の力で下校できるように、全校のみなさんにも協力して欲しいと思います。1年生は自分のいのちを自分で守れるように。2・3年生は、1年生のよいお手本になれるように。4～6年生は、低学年を見守り地区のつながりが更に深まるように。

夏休み明けもまだまだ暑いけれど、中洲小みんなでのいのちを大切に、元気に頑張りましょう！



お寄せいただいたアンケート

【ﾌﾗ問題に関するアンケートありがとうございます】

夏休み前にお配りした校長室便りにつけましたプラゴミ問題へのアンケート、早速金曜日から校長室に届けてくれる児童が何人もいて嬉しく思います。ご協力に感謝いたします！

我が家でも、夏休みに減プラ生活を意識してきましたが、心がけるだけでこんなにもプラゴミを減らせるのかとびっくりしました。マイボトルを常に持参するようになった中三の息子は、お店に行っても何をどのように買うか考えるようになり、今後もう続けていきたいと思っています。一緒にスーパーなどに行って減

プラの取り組みを調査しましたが、レジ袋の有料化が更に進んでいたり、使い捨てではないストローなどの製品が販売されていたりと、少し前に比べても環境問題に配慮した対応が進んでいました。今回、海洋プラスチック問題に関する新聞作りをするにあたっていろいろ調べた結果、思ったよりも深刻な事態になっていることに驚かされました。2050年には、海の魚よりも海洋ゴミの方が多くなるのではという予想も出ています。プラスチックを使わない生活は無理なので、子ども達の未来の為に出来ることに取り組んでいくことが大事だと思います。日本はリサイクルが進んでいるとは言え、その大部分がサーマルリサイクル（焼却によるリサイクル）で、地球温暖化の問題も関係して来ますし、中国が資源プラの受け入れをやめたことも課題になっています。

・・・皆さんからのアンケートはまた校長室便りにてお伝えします。



捨てられた網に絡まったウミガメ

* * * * *

夏休み、保護者の皆様のご協力に感謝致します。

お子さんが学校に行き始めて、やれやれでしょうか(^_^;)宿題はじめ本当に様々にご協力いただきまして、心より感謝申し上げます。プールの当番や地区の行事等も、とても暑い夏で大変だったことと思います。本当にありがとうございました。大きな事故やけが等なく安全に過ごせましたこと、何より感謝申し上げます。天候が不順だったり、まだまだ暑い日が続いたりすると思いますので、保護者の皆様も体調にはくれぐれもお気をつけください。

金曜日、子ども達は久しぶりの学校で友達や先生との再会がとても嬉しそうでした。職員も、前日にトイレの掃除をし、思い思いに作ったペットボトルのエコ花器に生けた花を飾り、子ども達を迎える準備をしました。1学期のまとめの大事な1ヶ月を、中洲小みんなで作って充実させて過ごしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。